

令和2年度 事業報告

自 令和2年 1月 1日

至 令和2年12月31日

公益財団法人 鹿沼市農業公社

令和2年度 公益財団法人鹿沼市農業公社 事業報告

近年の農業情勢は国が行う農政改革により農家所得や輸出額は緩やかな増加傾向にある反面、農業従事者は過去20年間で人口80万人減少、平均年齢は10歳近く上昇し、農地面積も荒廃農地の発生や転用などにより64万ha減少するなど生産基盤の脆弱化が懸念されております。

こうした中、当公社でも新型コロナウイルスの影響により感染対策や事業の自粛と縮小を余儀なくされましたが、親子農業体験を除く他の事業は感染対策を徹底した上で実施する事ができました。

また、国が進める人・農地プランの実質化に向けた話し合いには、市内各所で開催された会場に参加し、農地や担い手に関する情報の収集に努め、関係機関と連携して、担い手農家が効率的かつ安定的な農業経営を堅持できるよう各種公益事業等に取り組みました。

なお、具体的な事業内容については、以下のとおりご報告いたします。

1 理事会の開催状況

| 開催区分 | 開催日 | 開催内容 |
|-------|--------|---|
| 臨時理事会 | 1月14日 | ・臨時評議員会の招集について |
| 定時理事会 | 2月21日 | ・平成31年(令和元年)度 事業報告の承認について ・平成31年(令和元年)度 収支決算の承認について ・令和2年度 定時評議員会の招集について |
| 臨時理事会 | 4月14日 | ・評議員選定委員会開催及び候補者の推薦について |
| 臨時理事会 | 4月16日 | ・臨時評議員会の招集について |
| 臨時理事会 | 4月20日 | ・評議員選定委員の選出について |
| 臨時理事会 | 6月24日 | ・評議員選定委員会の開催及び候補者の推薦について |
| 臨時理事会 | 7月31日 | ・令和元年度補正予算の承認について ・臨時評議員会の招集について ・評議員選定委員の開催及び候補者の推薦について |
| 臨時理事会 | 11月30日 | ・公社就業規定の一部改正について ・公社職員給与規定の一部改正について |
| 定時理事会 | 12月21日 | ・令和2年度 補正予算(案)について ・令和3年度 事業計画(案)について ・令和3年度 収支予算(案)について ・資金調達及び設備投資の見込みについて ・臨時評議員会の招集について |

2 評議員会の開催状況

| 開催区分 | 開催日 | 開催内容 |
|--------|--------|--|
| 臨時評議員会 | 1月15日 | ・理事の選任について |
| 定時評議員会 | 3月19日 | ・平成31(令和元)年度 事業報告の承認について ・平成31(令和元)年度 収支決算の承認について |
| 臨時評議員会 | 4月16日 | ・理事の選任について |
| 臨時評議員会 | 12月28日 | ・令和2年度 補正予算(案)について ・令和3年度 事業計画(案)について ・令和3年度 収支予算(案)について |

3 各種事業の実施状況について

(1) 農地流動化事業

① 農地利用集積円滑化事業

| 区分 | 当初計画 | | 実績 | | 備考 | |
|-----|------|-------|----|----------|----|--------|
| 地主 | 戸数 | 580戸 | 戸数 | 671戸 | 対比 | 115.6% |
| | / | | 筆数 | 1,957筆 | / | |
| | 面積 | 390ha | 面積 | 394.87ha | 対比 | 101.2% |
| 担い手 | 戸数 | 80戸 | 戸数 | 82戸 | 対比 | 102.5% |
| | / | | 筆数 | 1,957筆 | / | |
| | 面積 | 390ha | 面積 | 394.87ha | 対比 | 101.2% |

・農地利用集積円滑化事業の新規契約

| 区分 | 実績 | | | 備考 |
|-----|----|-----|----|--------|
| 地主 | 戸数 | 46戸 | 面積 | 20.4ha |
| 担い手 | 戸数 | 11戸 | 面積 | 20.4ha |

② 農地バンク事業

- ・ 担い手への農地集積、集約化を推進し、地域の農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化を促進した。
- ・ 機構による担い手への貸付(R2・7月～12月)10件 4.2ha(25筆)
東大芦・西大芦・加蘇地区： 契約件数 2 件、 面積：1.9ha(7筆) 集積金 0 円
栗野地区： 契約件数8件、面積:2.3ha(18筆) 地域協力集積金 195,000 円

(2) 農作業受委託等推進事業

① 部分農作業の仲介

水稲作付に係る耕起、代かき、田植え等の基幹作業受委託仲介

6 件(耕起、代かき、田植え、肥料散布、薬剤散布、圃場の溝堀など)延べ 4.0ha

② 農作業支援制度確立のための管理再委託作業の実施

- ・ 農作業支援者の登録

水田の水管理 47名

畦畔の草刈作業 32名(うちグループ 2 団体)

- ・ 畦畔等の草刈委託希望農家に対し、登録者情報を随時提供した。
- ・ 現地で委託希望農家と農作業支援登録者との調整(畦畔面積、料金設定等)を実施した。
- ・ 草刈、水管理 実績： 戸数 153戸、面積 99.3ha

③ 農地相談会の開催

- ・ 農地の売買、賃貸借、農作業委託、耕作放棄地問題等、農地に関する総合的な相談会を農業公社において開催した。
- ・ 開催日： 12月 6日(日)
- ・ 相談員： 7名(農業委員、市農政課、農業委員会事務局、農業公社)
- ・ 相談件数： 15 件
(貸借・売却 13 件、情報提供他 2 件)

(3) 耕作放棄地対策事業

① 雑草駆除作業等の支援

- ・ 自己管理が困難な農家からの要望を受け、農業生産法人かぬまに委託して耕起や雑草駆除作業を行い、農地の耕作放棄地化を未然に防止した。
- ・ 実績： 件数 2 件、面積 0.7ha

② 耕作放棄地の解消に関する事業の実施

- ・ 市農政課、農業委員会事務局と共に現地調査を行い、農地の状態を確認し、事業の適用を検討するなど、「農地リニューアル事業」への協力を行った。
- ・ 実績： 件数 2 件、面積 1.0ha

(4) 新規就農者支援に関する事業

- ・ 鹿沼市いちご新規就農者研修事業

本市が「いちご市」を宣言したことを受け、平成29年から「鹿沼市いちご新規就農者支援対策協議会」の構成メンバーとして参画している。今年度、次年度の2ヶ年の計画で研修生用出荷調整施設の充実を図っている。

(5) 農業への理解促進と将来の担い手確保推進事業

① 親子農業体験学習事業

- ・市内の小学生及び保護者を対象に農業体験を通して農業への理解や、食への関心を高める目的で例年行っているが、新型コロナの流行のため本年度は開催を中止した。来年度は、個別に区分した圃場で感染対策、作物の再検討を行った上で実施する。

② 鳥獣害対策事業

- ・近年、イノシシやシカ、サルなど野生鳥獣による農作物への被害が深刻な状況にあるため、農業生産法人かぬまに委託している農家等に対して注意喚起のチラシを配布した。
また、減少傾向にある狩猟免許取得者を確保するため、市林政課や猟友会と連携し、「鳥獣害対策による狩猟免許新規取得助成要綱」に基づき、狩猟免許取得に要する経費の一部を助成した。
- ・補助対象者の地域と人数 : 菊沢・南摩・東大芦・板荷地区各1名 合計4名

③ 麻の生産技術研究と普及啓発事業

- ・鹿沼市の伝統工芸作物である麻の栽培を継承していくため、公社自ら実践的な麻の栽培を通して生産技術向上のための研究を行った。

④ 農業後継者を対象とした研修事業

(農業生産法人かぬま委託者地権者連絡協議会と共催)

- ・将来農地の畦畔管理を担う事になる農業後継者を対象に、草刈り機の安全な使用方法及び負担を軽減する使用方法・機械のメンテナンス・除草剤の適正な使用方法などについて農業生産法人かぬま受託圃場を利用して実践研修を行った。
- ・実施日時 令和2年9月27日(日) 参加者30名

(6) 機械施設のリース事業

- ・農業機械リース事業の実施

貸出先 : 有限会社 農業生産法人かぬま

貸出件数 : ・ 機械及び装置 31台
・ 車両及び運搬具 18台
・ 建物、施設、備品等 14件